

平成 24 年度

クリーン仙台推進員活動報告

ごみ集積所排出実態調査結果

仙台市環境局廃棄物管理課

クリーン仙台推進員活動報告 ～ごみ集積所排出実態調査結果～

目的

クリーン仙台推進員の皆さまが地域の中で実際に活動していくうえで、自分たちの住む地域の「ごみ排出の実態」を把握することにより、地域における活動の方向性を探りながら、ごみ減量・リサイクルの推進、環境美化活動につながる手掛りとしていただくこと。また、町内会等の皆さまと一緒に活動していただくことで、地域における環境意識の高揚を図ることを目的といたしました。

調査員数及び調査力所数

クリーン仙台推進員 714 人、協力者 800 人、合わせて 1,514 人

調査日

平成 24 年 10 月で各クリーン仙台推進員が選定した日

調査場所

各クリーン仙台推進員が選定したごみ集積所 1,589 カ所

調査内容

ごみ集積所排出実態調査票

(1) 調査対象集積所の状況

集積所の現況や形状、利用者の世帯数及び地域性について記載を行なっていただきました。

(2) 家庭ごみの排出状況

ごみ袋の数の確認や、リサイクル可能な資源ごみの混入状況等の調査を行なっていただきました。

(3) プラスチック製容器包装の排出状況

ごみ袋の数の確認や、プラスチック製容器包装以外のプラスチック製品や、汚れのひどいものの混入状況等の調査を行っていただきました。

(4) 缶・びん・ペットボトルの排出状況

フタ・ラベルがはずされているか、つぶされているか等の調査を行なっていただきました。

(5) 紙類定期回収の排出状況

種類ごとの分別状況や集積所ステッカーの貼付等の調査を行なっていただきました。

集計結果（まとめ）

今回の調査は、本市が今後ごみの分別・リサイクルを推進する上で、とても参考になる結果が得られました。皆さまからいただきました多くのご感想やご意見・ご要望等につきましては、今後、地域の方々と連携を図りながら、それぞれの課題の解決に向けて取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

集計の結果から、ごみ集積所で使用している鳥獣被害対策（ネット等）を講じた状況や、家庭ごみ・プラスチック製容器包装の正しい指定袋を使用している割合、缶・びん・ペットボトルや紙類の排出状況につきましても概ね良好な結果となりましたが、リサイクル可能物の混入割合や紙類について十字に縛ることなどは昨年度までと比較してあまり改善されておらず、一層の PR が必要と考えております。

なお、調査結果の詳細につきましては、以下 1～7 のとおりです。

1 調査概要

平成 24 年 10 月に排出状況を調査いただきました。その月内で家庭ごみは 2 回以上、プラスチック製容器包装、缶・びん・ペットボトル及び紙類は 1 回以上となるよう排出日を選んでいただきました。

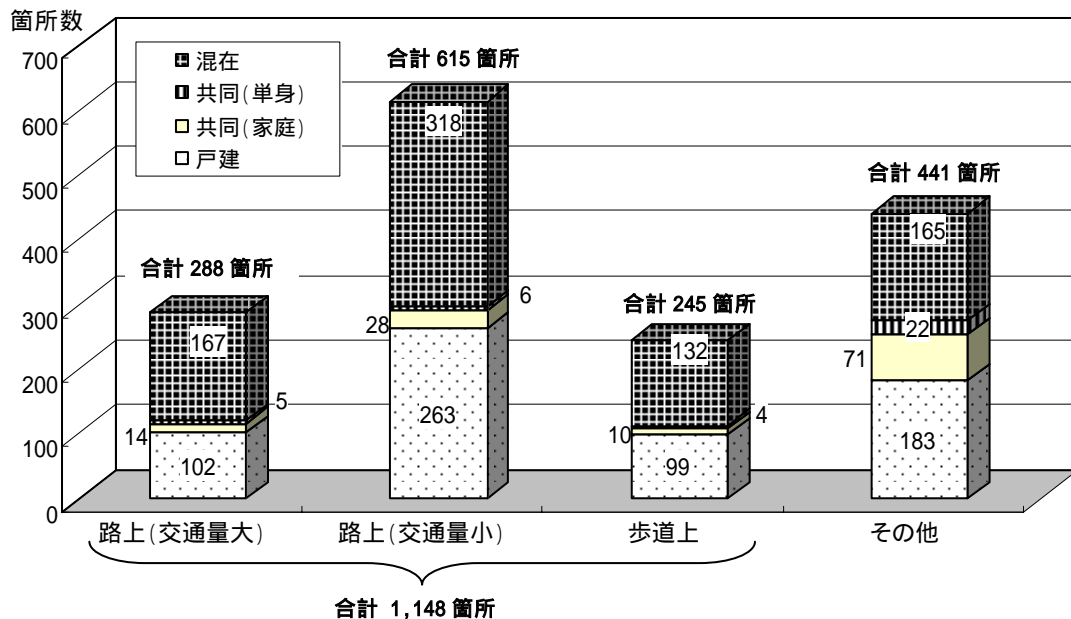
2 各区ごとの調査員数および調査箇所数

行政区	調査員数			調査箇所数
	推進員	協力者	合計	
青葉区	171	169	340	402
宮城野区	106	103	209	235
若林区	95	101	196	220
太白区	198	154	352	401
泉区	144	273	417	331
合計	714	800	1,514	1,589

平成 23 年度の調査箇所数は 1,375 箇所。平成 24 年度はその約 16% 増の 1,589 箇所となりました。

3 ごみ集積所の状況

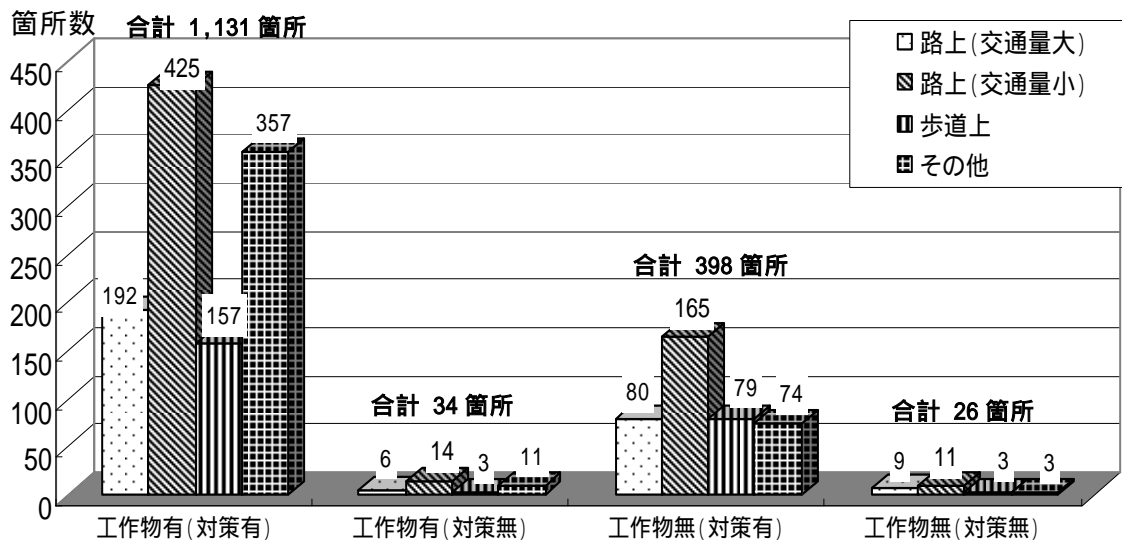
設置場所ごとの利用者の居住形態



これは、ごみ集積所の設置場所ごとに利用者の居住形態を表したグラフです。調査した集積所のうち路上・歩道上に設置されている所は合わせて 1,148 箇所、全体(1,589 箇所)に対し 72.2% を占めています。

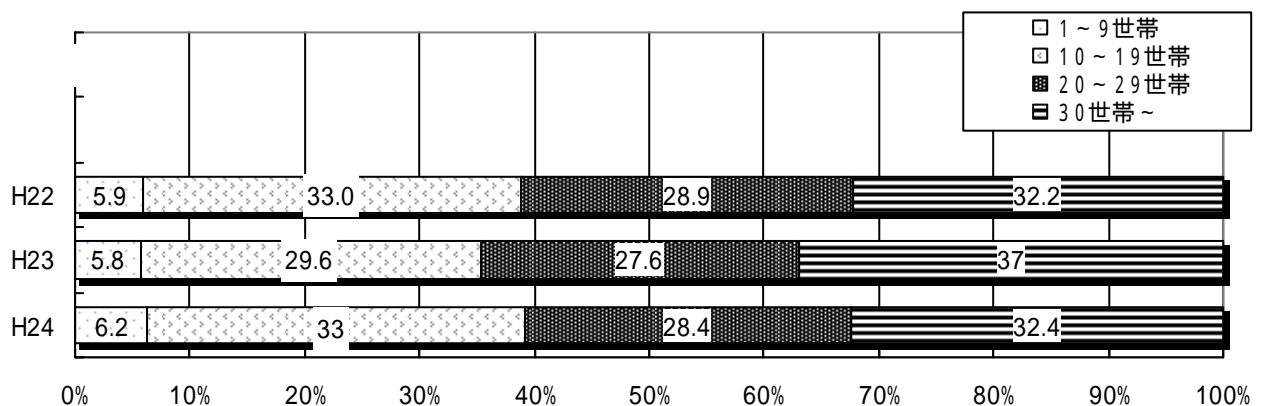
また、戸建住宅にお住まいの方が利用されるごみ集積所は 647 箇所(全体の 40.7%)、戸建と共同住宅にお住まいの方が混在して利用している集積所は 782 箇所(全体の 49.2%)でした。

(2) 設置場所と鳥獣被害対策の実施状況



これは、設置場所の状況と鳥獣被害対策の形状についてのグラフです。今回の調査ではネット等による鳥獣被害対策がなされた集積所は「工作物有(対策有)」が1,131箇所、「工作物なし(対策有)」が355箇所、合わせて1,486箇所(全件の約94%)となり、ほとんどの集積所は鳥獣被害対策が講じられていました。

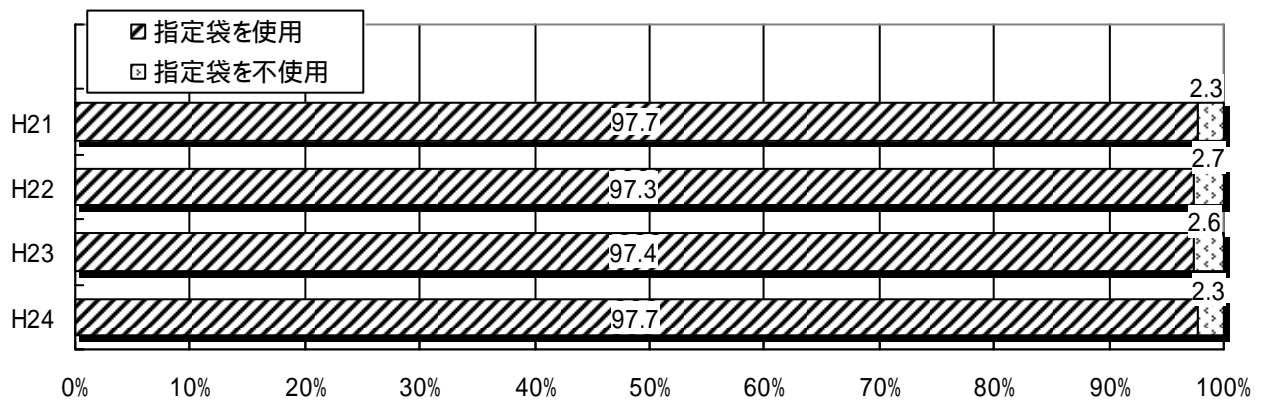
(3) 利用世帯数



これは、集積所ごとの利用世帯数の割合について表したグラフです。調査対象の集積所を利用している世帯は、「1~9世帯」が6.2%、「10~19世帯」が33%、「20~29世帯」が28.4%、「30世帯以上」が32.4%となっております。このことから、今回調査した集積所の約6割は20世帯以上で利用する比較的排出量が多い集積所となっています。

4 家庭ごみの排出状況

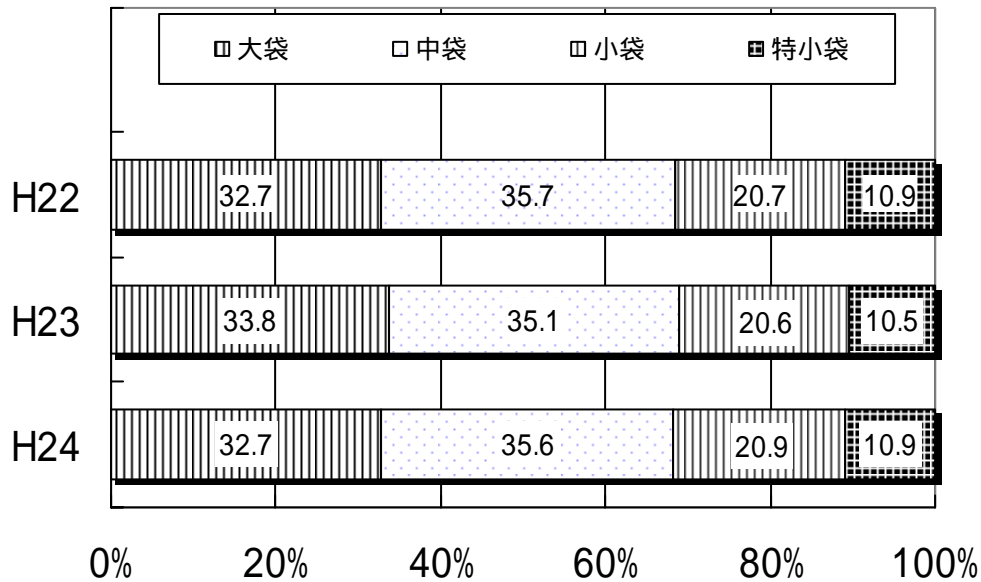
(1) 指定袋の使用割合（年度別）



これは、家庭ごみの指定袋の使用状況を年度別に表示したグラフです。

毎年度、概ね正しい指定袋が使用されています。その割合は、有料化翌年で使用の意識が高かったと考えられる平成 21 年度に並びました。

(2) 指定袋のサイズの内訳



H23 調査指定袋数

調査箇所数 1,375 箇所

10月

大	23,781袋
中	24,732袋
小	14,487袋
特小	7,401袋
合計	70,401袋

H24 調査指定袋数

調査箇所数 1,589 箇所

10月

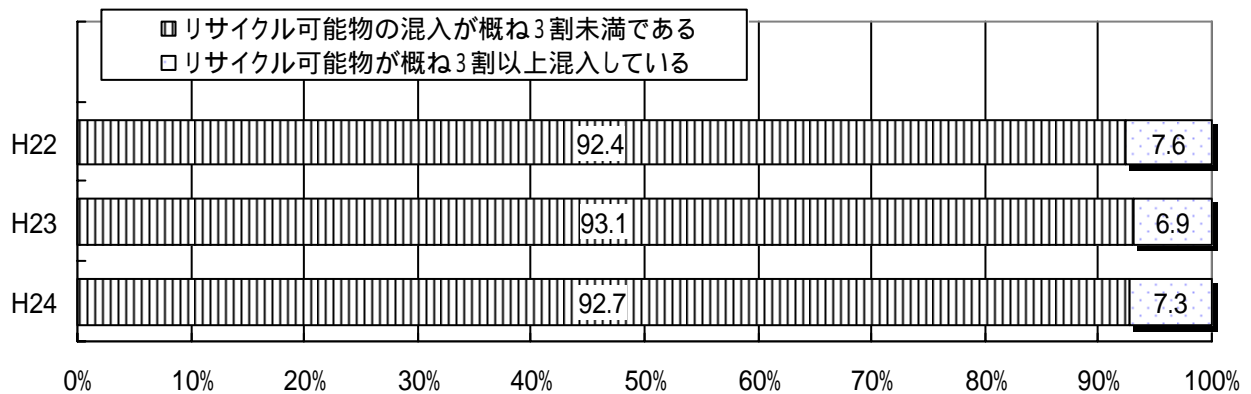
大	26,052袋
中	28,426袋
小	16,676袋
特小	8,608袋
合計	79,762袋

これは、出された家庭ごみを指定袋のサイズごとに調べた割合を表したグラフです。

平成 24 年度は多い順に「指定中袋」35.6%、「指定大袋」32.7%、「指定小袋」20.9%、「指定特小袋」10.9%となっています。今年度もこれまでと傾向は変わりませんでした。

また、排出された袋の実数については、23 年度は 51.2 個/箇所であるのに対し 24 年度は 50.2 個/箇所となり、1 箇所あたり出される袋数は若干減少しています。

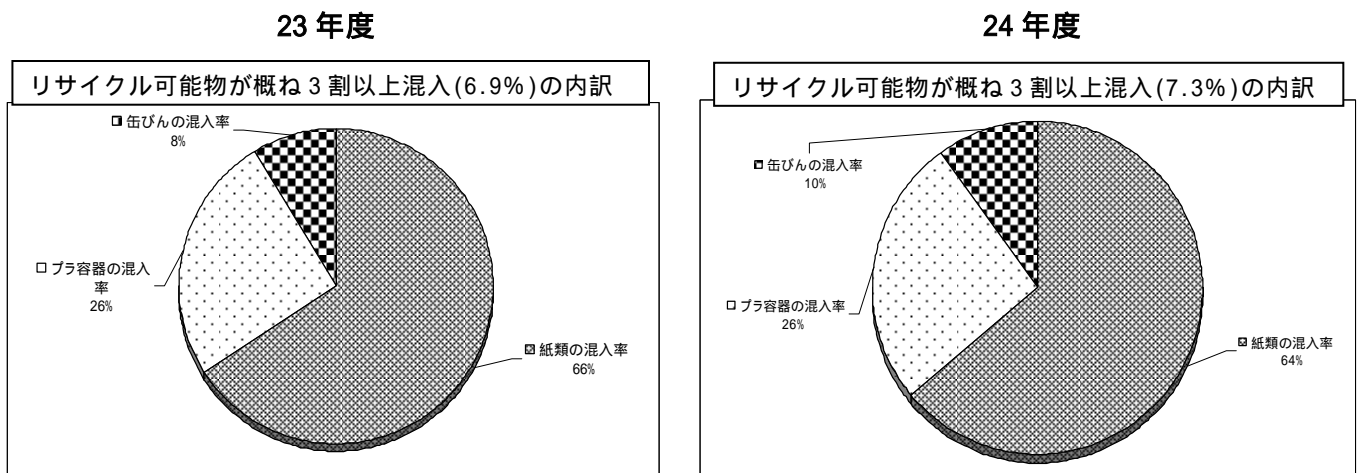
(3)リサイクル可能物の混入状況



これは、家庭ごみの中に、紙類・缶・びん等のリサイクル可能物が概ね3割以上混入している袋の割合を年度別に表したグラフです。

3割以上混入していた袋の割合は、平成23年度6.9%に対し、平成24年度7.3%と若干増加していることから、今後、さらに分別を徹底していく必要があります。

(4)リサイクル可能物が概ね3割以上混入している袋中の混入物の内訳



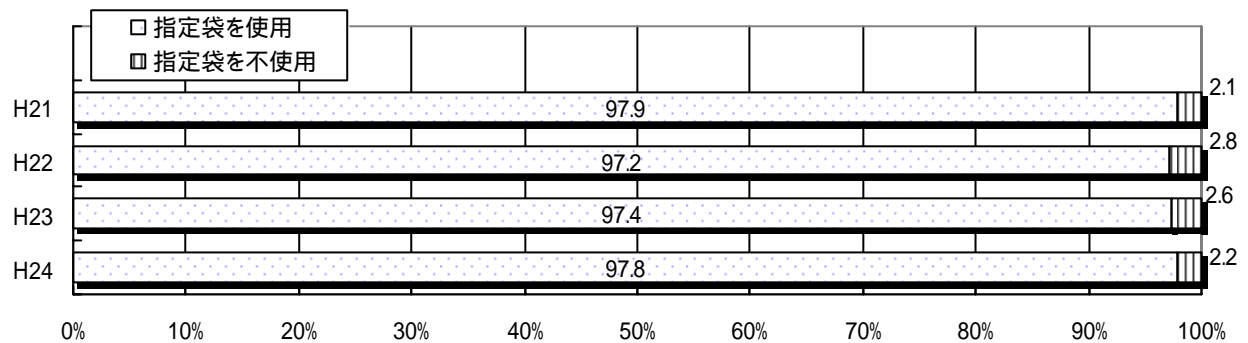
これは、(3)の「リサイクル可能物が概ね3割以上混入している袋」の混入物についての内訳を平成23年度と平成24年度で比較したグラフです。

平成24年度も紙類の混入が64%と最も多く、その割合も平成23年度とほとんど変わっておりません。

ごみ減量を進めるにあたっては、リサイクル可能な紙類の分別・リサイクルをさらに徹底していく必要があります。

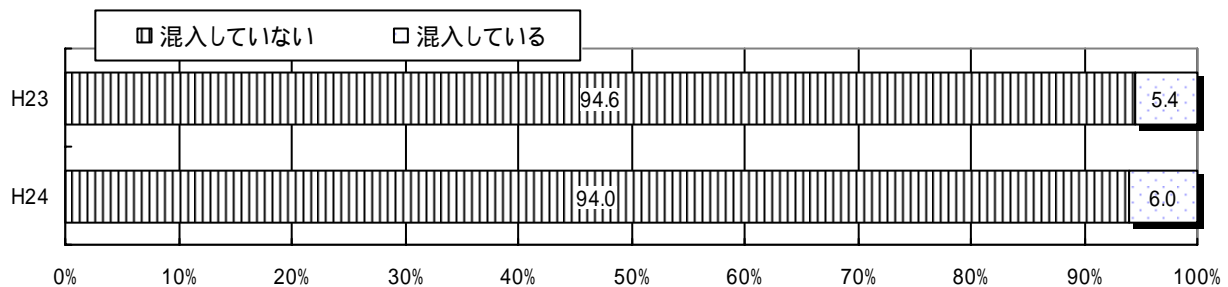
5 プラスチック製容器包装の排出状況

(1) 指定袋の使用割合（年度別）



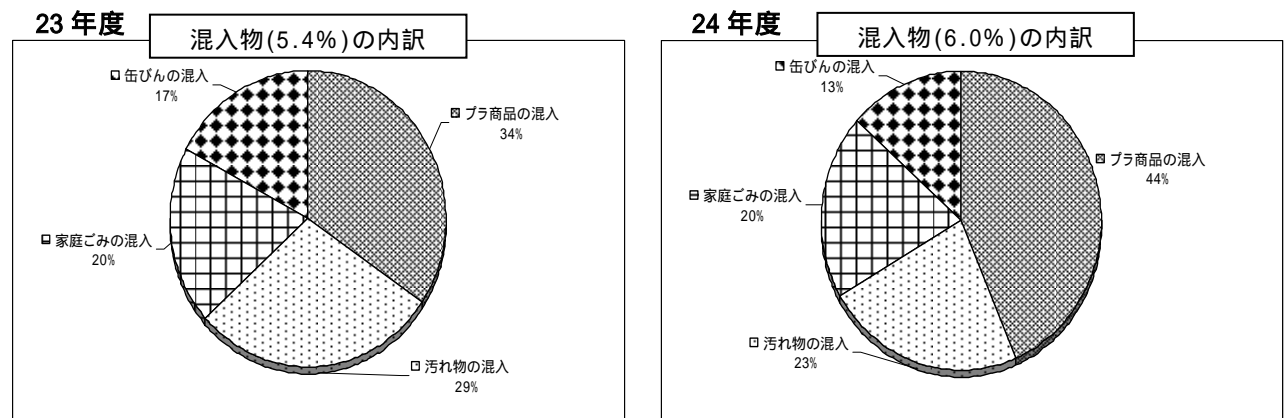
これは、プラスチック製容器包装の指定袋の使用状況を年度別に表示したグラフです。毎年度、概ね正しい指定袋が使用されています。その割合は、有料化翌年で使用の意識が高かったと考えられる平成 21 年度に近づいています。

(2) プラスチック製容器包装以外の物の混入状況



これは、プラスチック製容器包装以外の物の混入割合が概ね 2 割以上である袋の割合を表示したグラフです。2 割以上混入していた袋の割合は、平成 23 年度 5.4% に対し平成 24 年度 6.0% と若干増加しています。

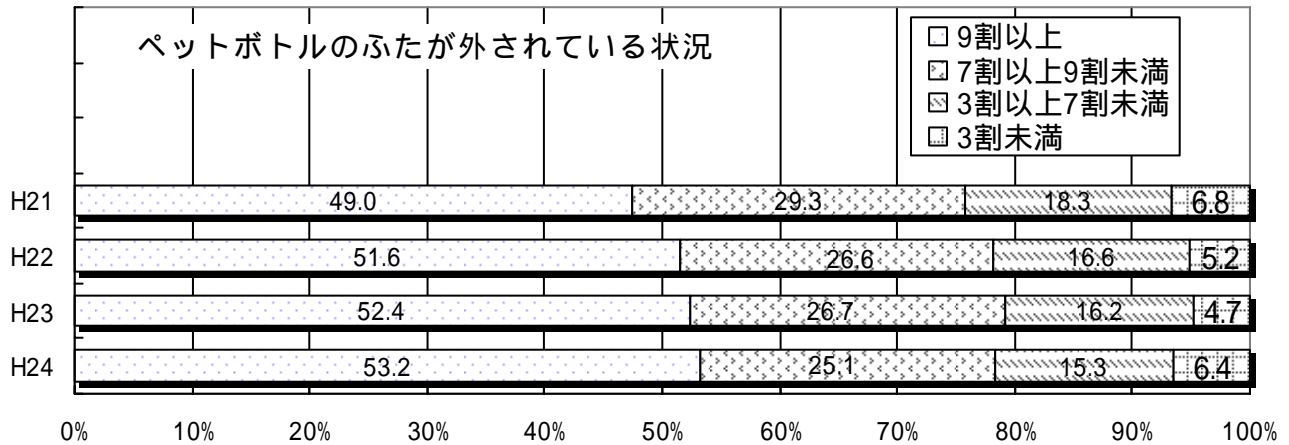
(3) プラスチック製容器包装以外の物が概ね 2 割以上混入している袋中の混入物の内訳



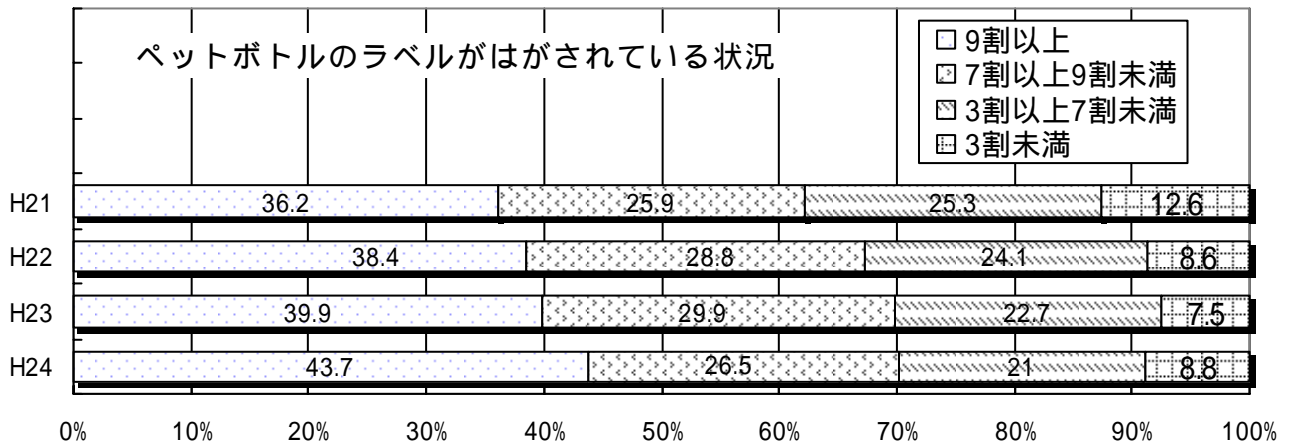
これは、(2)の「プラスチック製容器包装以外の物が概ね 2 割以上混入している袋」の混入物についての内訳を平成 23 年度と平成 24 年度で比較したグラフです。平成 24 年度は「プラ商品の混入」が 44% と最も多く、その割合も平成 23 年度と比較して 10% 増加していることから、今後、プラスチック製容器包装とプラ商品を区別する目安となる「プラマーク」への関心を高めていく必要があります。

また、平成 23 年度と平成 24 年のいずれも「汚れている物の混入」が 2 割を超えています。今後、プラスチック製容器包装であっても汚れている物はリサイクルできないことをさらに PR していく必要があります。

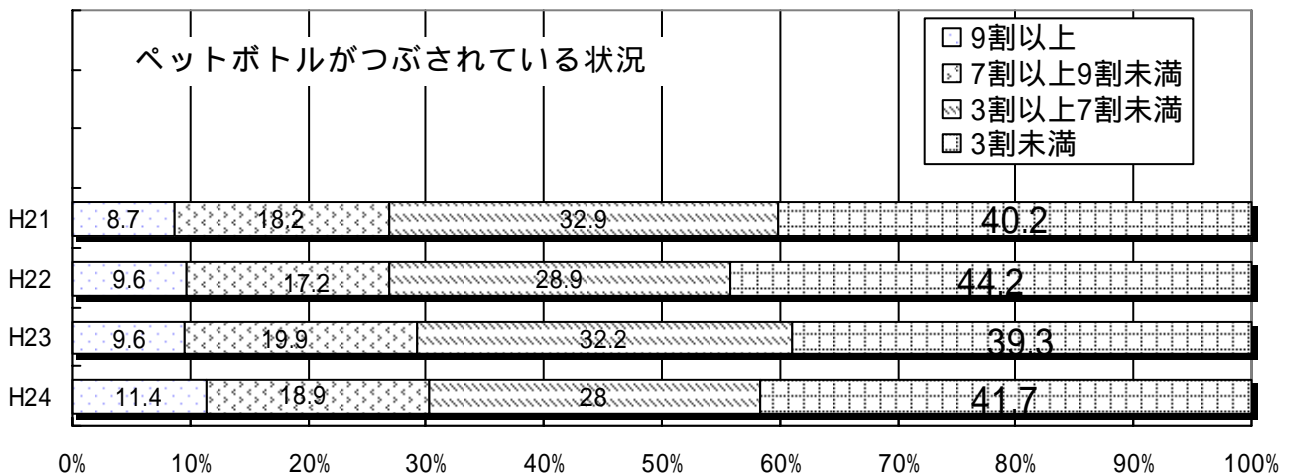
6 缶・びん・ペットボトルの排出状況



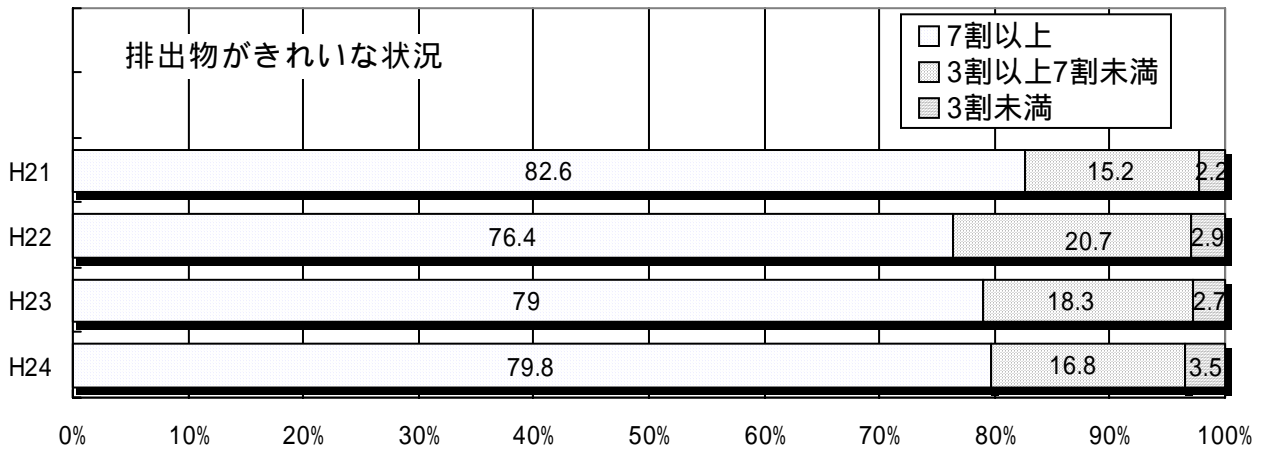
「9割以上」「7割以上9割未満」を合わせると全体の8割近くはふたが外されていました。しかし、「9割以上」ふたが外されている集積所が年々増えている一方で「3割未満」も増えており、ふたを外す集積所と外さない集積所がはっきりと分かれるような傾向が見られます。



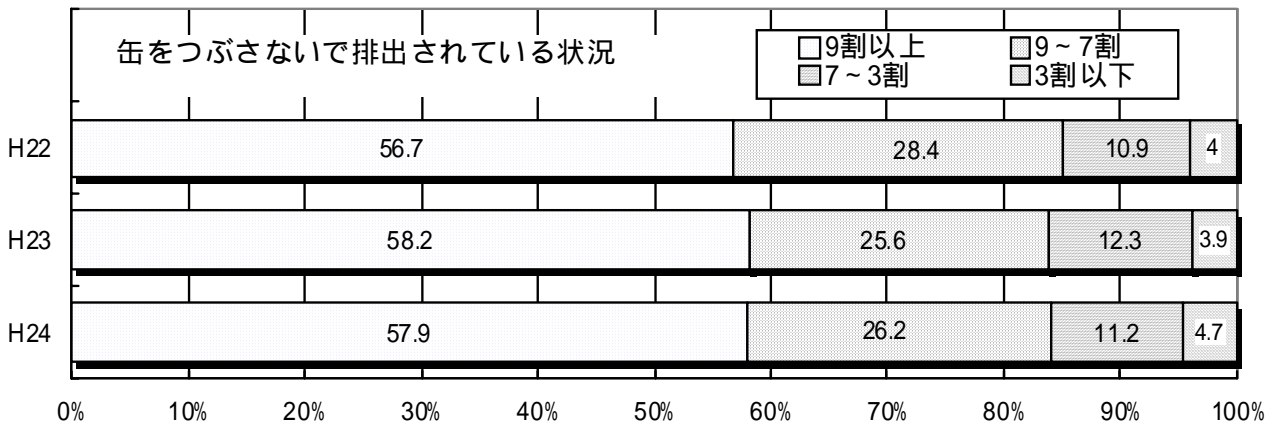
「9割以上」と「7割以上9割未満」を合わせるとラベルがはがされている集積所数は増加傾向にあり、着実に改善されています。



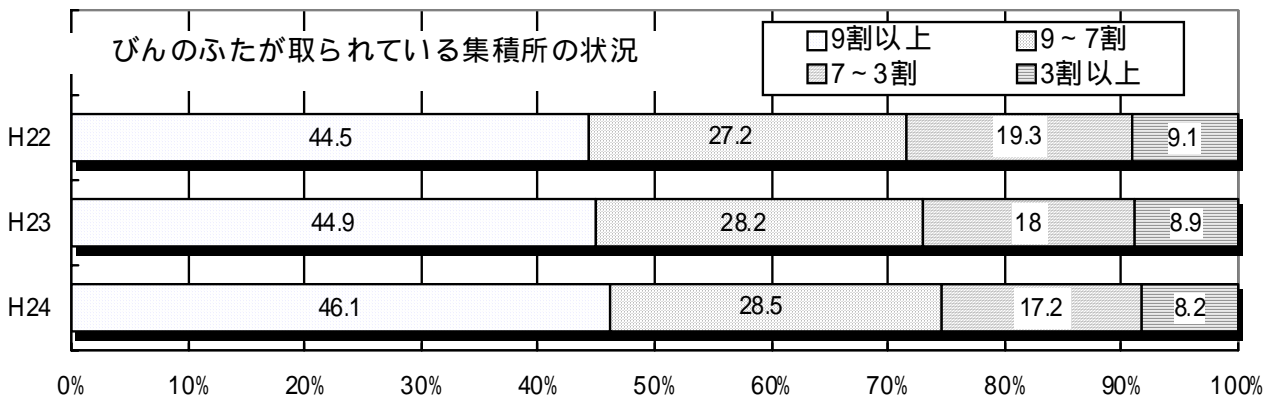
「9割以上」と「7割以上9割未満」を合わせるとペットボトルがつぶされている集積所数は増加傾向にありますが、その割合は全体の3割程度にとどまっています。ペットボトルはかさ張り、回収容器が増えて集積所のスペースが広がるだけでなく、収集効率の低下にもつながりますので、さらなるPRが必要です。



「7割以上」が全体の約8割となっており、概ねきれいな状態で排出されていますが、一方で、「3割未満」の集積所も増加しており、きれいな状態で排出するところとそうでないところがはっきりと分かれる傾向が見られます。

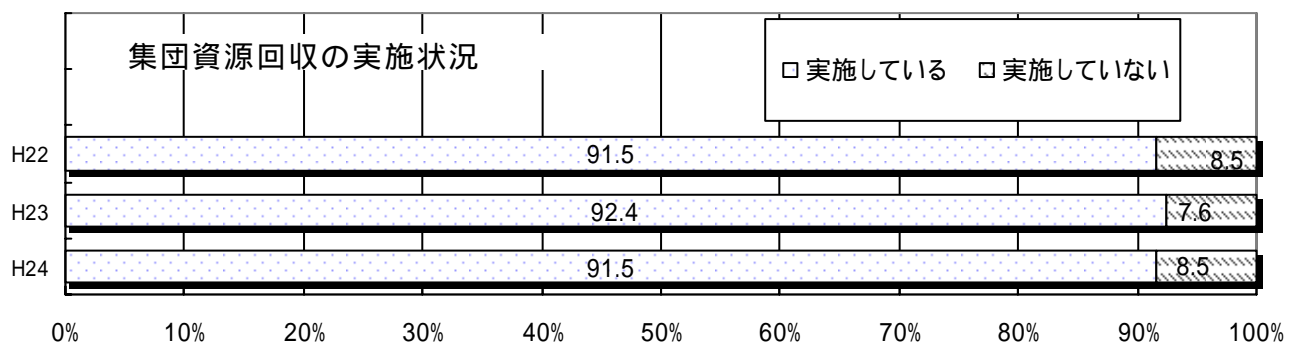
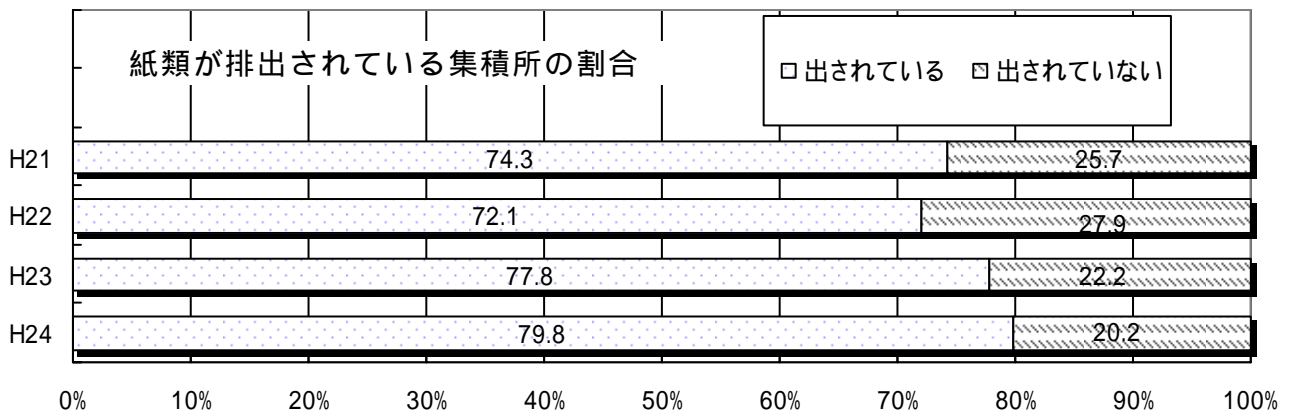


「9割以上」と「9割～7割」を合わせると約8割を超える集積所で適正に缶をつぶさないで排出されており、概ね良好な結果でした。年度別では、顕著な傾向は見られません。



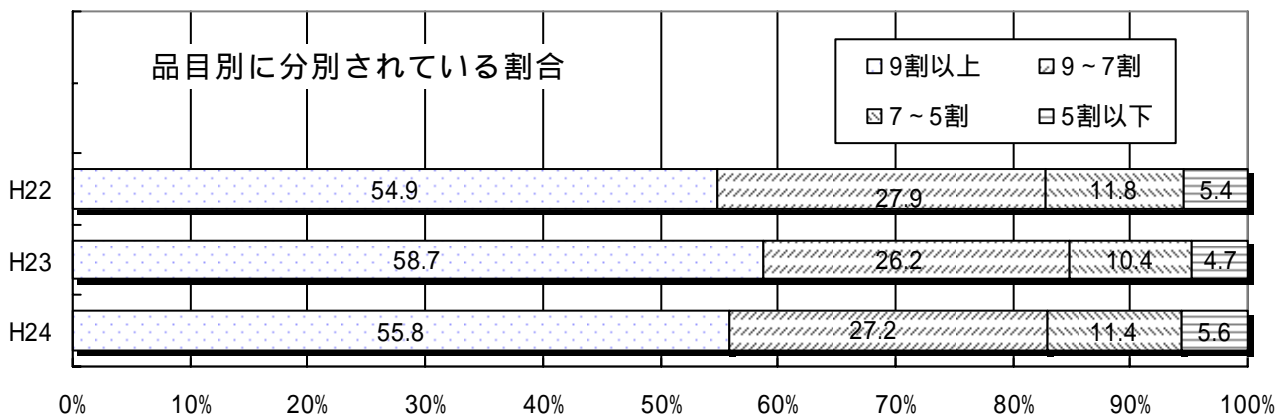
「9割以上」と「9割～7割」を合わせると全体の7割を超える集積所でびんのふたが取られています。その割合も増加傾向にあり、着実に改善されています。

7 紙類の排出状況



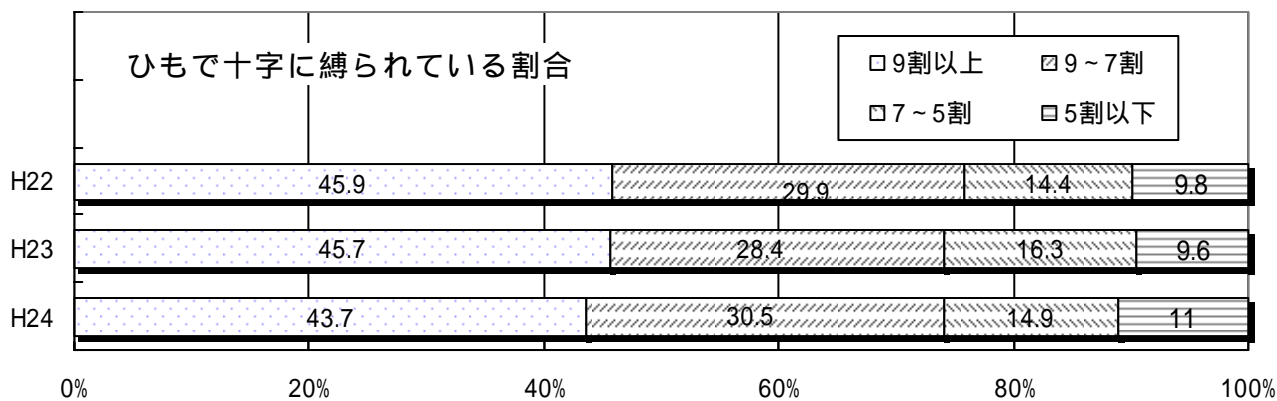
については、紙類が出されている集積所は増加傾向にあり、紙類排出での集積所の利用が進んでいます。

については、「実施している」は9割を超え、ここ数年安定しています。

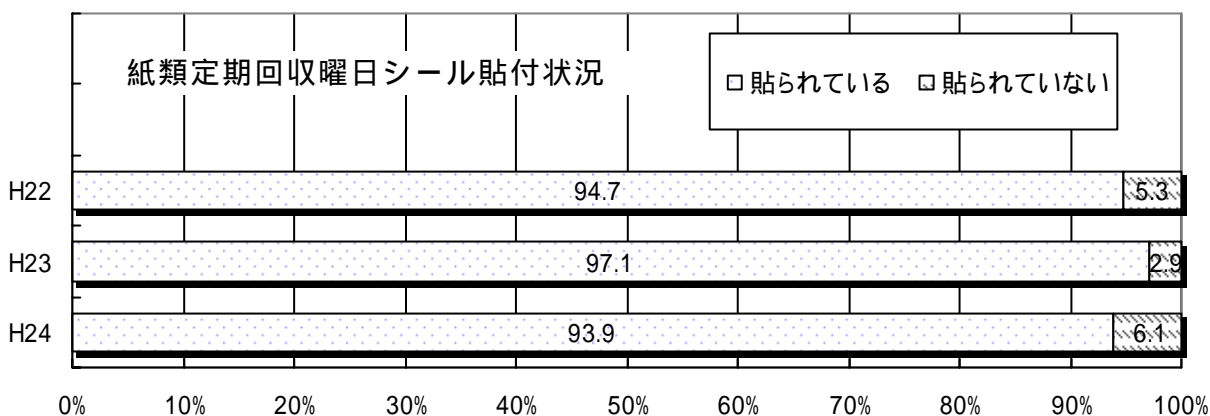


「9割以上」と「9割から7割」を合わせると全体で8割を超える集積所できちんと品目別の分別が行われています。

年度別では、顕著な傾向は見られません。



「9割以上」と「9割から7割」を合わせると全体で7割を超える集積所がひもで十字に縛って適正に排出していますが、一方で「5割以下」も増加傾向にあります。ひもで縛らないで出すと飛散につながり、近所の方々や通行人に迷惑をお掛けすることになります。ひもで十字にしっかり縛るようさらにPRしていく必要があります。



紙類定期回収曜日シールが貼られている集積所は9割を越えていますが、その割合は減少傾向にあります。

紙類定期回収曜日シールの貼付は、地域の方々に紙類定期回収の収集曜日を周知するのに大変有効です。必要な場合は、お住まいの区の環境事業所へご連絡をいただければ、配付いたします。

ごみ集積所排出実態調査票

調査 No .

町内会名

推進員氏名

推進員No.

- 1 -

調査記録者が申し込みされた推進員と違う場合は下記も記入をお願いします。

調査票記録者氏名

調査対象の集積所の状況

1 どんな場所にありますか？

路上（交通量多い）

路上（交通量少ない）

歩道上

その他

2 どんな形状ですか？

工作物（ネット等鳥獣対策あり）

工作物（鳥獣対策なし）

工作物なし（ネット等鳥獣対策あり）

工作物なし（鳥獣対策なし）

3 どのような方が利用していますか？

戸建住宅

共同住宅（家庭）

共同住宅（単身者）

～ の混在

4 利用している世帯数は、どのくらいですか？

1～9世帯

10～19世帯

20～29世帯

30世帯

5 集積所の状況について、感想や困っていることなどを記入してください。

調査が終わり次第、同封の返信用封筒にまとめて提出いただくよう、よろしくお願
いいたします。なお、封筒に入りきらない場合は、お住まいの地区の環境事業所にお
問い合わせください。

ごみ集積所排出実態調査の説明書をご覧の上、補助票で積算していただき、積算結
果を調査票に記入をお願いします。

家庭ごみの排出状況（1回目）

調査月日	月	日 ()	調査時間	:	~	:	天気
1 排出袋などの数を記入願います							
正しい出し方	{						
	・指定袋（大__袋、中__袋、小__袋、特小__袋）						
	・ポリバケツを使用し指定袋で出している__個						
間違った出し方	{						
	・指定袋以外の袋（旧指定袋・レジ袋など）__袋						
	・その他__個						
2 リサイクル可能な資源物の混入している袋の数（概ね3割以上混入）							
	{						
	・紙類__袋 ・プラスチック容器包装__袋						
	・缶、びん、ペットボトル__袋						

家庭ごみの排出状況（2回目）

調査月日	月	日 ()	調査時間	:	~	:	天気
1 排出袋などの数を記入願います							
正しい出し方	{						
	・指定袋（大__袋、中__袋、小__袋、特小__袋）						
	・ポリバケツを使用し指定袋で出している__個						
間違った出し方	{						
	・指定袋以外の袋（旧指定袋・レジ袋など）__袋						
	・その他__個						
2 リサイクル可能な資源物の混入している袋の数（概ね3割以上混入）							
	{						
	・紙類__袋 ・プラスチック容器包装__袋						
	・缶、びん、ペットボトル__袋						

プラスチック容器包装の排出状況

調査月日	月	日 ()	調査時間	:	~	:	天気
1 排出袋などの数を記入願います							
正しい出し方		}	・指定袋（大__袋、中__袋、小__袋） ・指定袋が貼ってある発泡スチロール__個				
間違った出し方			・指定袋以外の袋（旧指定袋・レジ袋など）__袋 ・その他__個				
2 1のうち容器包装の対象以外の物が混入している袋の数(概ね2割以上混入)							
		}	プラスチック商品__袋				
			汚れのひどい物__袋				
			上記以外の家庭ごみ__袋				
			缶、びん、ペットボトル__袋				

缶・びん・ペットボトルの排出状況

調査月日	月	日 ()	調査時間	:	~	:	天気
1 ペットボトルの排出状況							
ペットボトルのフタがはずされている (9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							
ペットボトルのラベルがはがされている (9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							
ペットボトルがつぶされている (9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							
2 缶の排出状況							
缶がつぶされていない (原形のまま) (9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							
缶はつぶさないで、資源箱に出すのが正しい。							
3 びんの排出状況							
びんのフタがはずされている (9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							
4 その他							
缶・びん・ペットボトルはきれいな状態である							
(9割以上・9~7割・7~3割・3割以下)							

紙類定期回収の排出状況

調査月日	月	日 ()	調査時間	:	~	:	天気
1 収集日に紙類は出されていますか？							
出されている		出されていない					
2 品目別に（新聞・段ボール・紙パック・雑誌・雑がみ）きちんと分別されている割合はどのくらいですか？							
9割以上	9~7割	7~5割	5割以下				
3 きちんとひもで十字にしばられている割合はどのくらいですか？							
9割以上	9~7割	7~5割	5割以下				
4 集積所ステッカーに紙類収集曜日のシールは貼られていますか？							
貼られている		貼られていない					
集積所ステッカー（収集曜日等）がはがれている場合は、お住まいの地区の環境事業所にご連絡ください。							

(関連質問)

問 あなたの地区では子ども会などで集団資源回収をしていますか？

行っている

行っていない